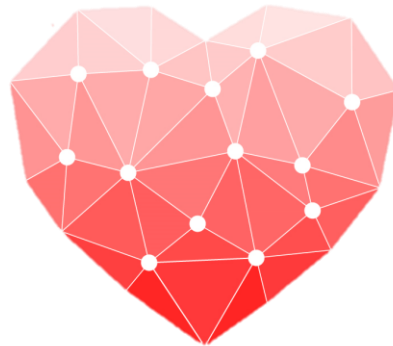
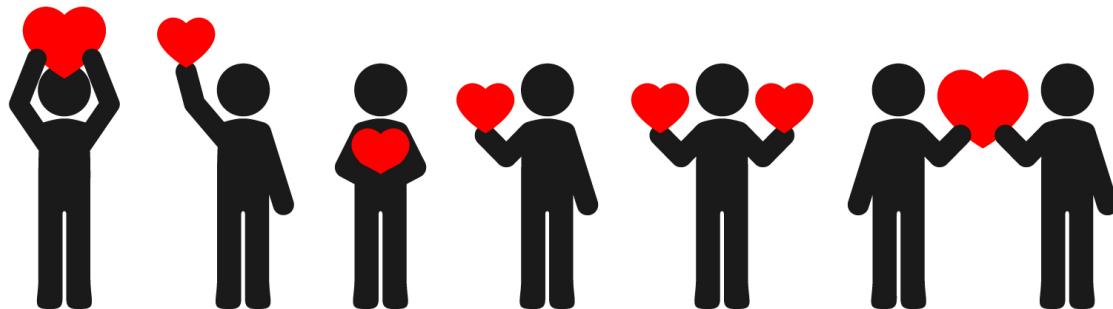


第34回全国公民館セミナー
公民館のミライ
～未来の公民館をデザインしよう～

短大 × 地域 × 公民館



若者を“のり役”にする！



桜の聖母短期大学
キャリア教養学科教授
桜の聖母生涯学習センター長
三瓶千香子



自己紹介

三瓶千香子（さんぺいちかこ）

郡山市出身

上智大学大学院（生涯教育学専攻）

▶【歴任】福島県生涯学習審議会委員、南相馬市教育振興基本計画策定会議の有識者委員。第8期中央教育審議会生涯学習分科会学習成果活用部会専門委員、郡山市教育振興基本計画審議会委員、日本青年館評議員、福島県明るい選挙推進協議会委員、福島市生涯学習を進める会委員を歴任。

▶【現在】KFB福島放送番組審議会委員、福島県立図書館協議会委員、福島市社会教育委員、日本実務教育協会リカレント教育ワーキングチーム委員、くにみ学園計画策定委員など。

公民館構想の寺中作雄に大きな影響を与えた田澤義鋪の研究を教育活動の基礎に置く。

問6. あなたは、これから学習するとした場合、どのような場所や形態で学習したいと思いますか。(〇はいくつでも)

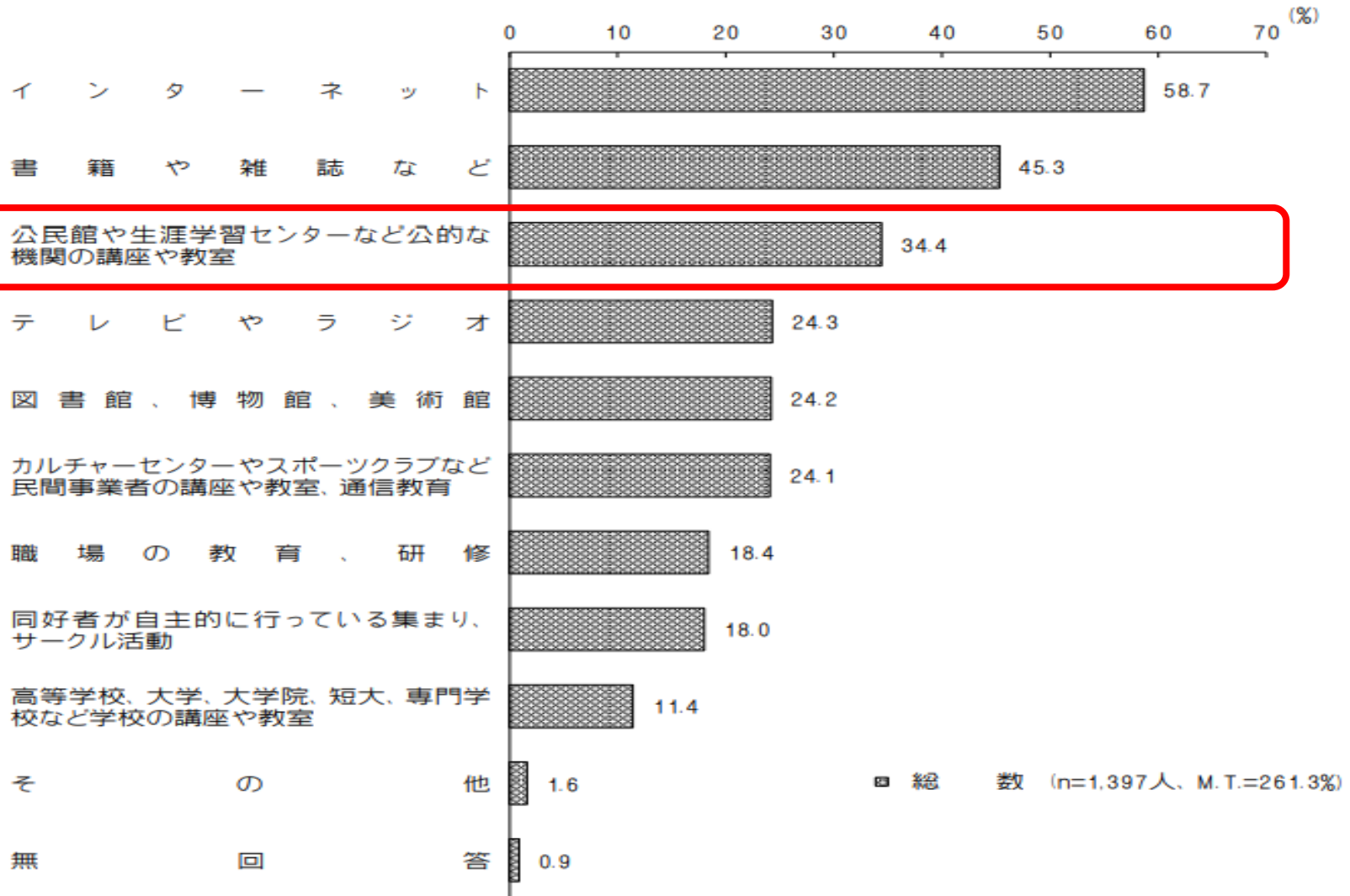


表6 今後学習したい場所や形態

(これから学習するとした場合、学習したいことを挙げた者に、複数回答)

	該 当 者 数	イ ン タ ー ネ ッ ト	書 籍 や 雑 誌 な ど	公 民 館 や 生 涯 学 習 セ ン タ ー な ど の 機 関 の 講 座 や 教 室	テ レ ビ や ラ ジ オ	図 書 館 、 博 物 館 、 美 術 館	教 室 、 通 信 教 育	カ ル チ ャ ー セ ン タ ー や ス ポ ー ツ ク ラ ブ な ど 民 間 事 業 者 の 講 座 や	職 場 の 教 育 、 研 修	同 好 者 が 自 主 的 に 行 っ て い る 集 まり 、 サークル活動	大 学 、 高 等 学 校 、 専 門 学 校 な ど 学 校 の 講 座 や 教 室	そ の 他	無 回 答	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,397	58.7	45.3	34.4	24.3	24.2	24.1	18.4	18.0	11.4	1.6	0.9	261.3	
大 都 市	399	61.2	50.1	31.1	23.6	28.1	28.1	21.6	20.1	16.0	1.3	0.3	281.2	
東 京 都 区 部	99	65.7	48.5	27.3	18.2	28.3	31.3	20.2	18.2	22.2	2.0	-	281.8	
政 令 指 定 都 市	300	59.7	50.7	32.3	25.3	28.0	27.0	22.0	20.7	14.0	1.0	0.3	281.0	
中 都 市	584	60.4	45.0	34.6	25.0	22.6	24.8	16.6	17.0	10.6	1.9	1.0	259.6	
小 都 市	296	54.4	41.6	36.1	23.3	22.0	20.3	16.6	17.2	7.4	1.0	1.4	241.2	
町 村	118	52.5	39.8	39.8	25.4	24.6	16.9	21.2	18.6	9.3	3.4	0.8	252.5	
〔性〕														
男 性	666	63.1	47.0	30.0	20.6	23.3	20.4	20.1	18.2	12.3	1.7	0.9	257.5	
女 性	731	54.7	43.8	38.3	27.6	25.0	27.5	16.8	17.9	10.5	1.6	0.8	264.7	
〔年齢〕														
18 ~ 29 歳	152	80.3	57.2	15.1	18.4	36.8	21.1	28.9	11.8	23.0	0.7	-	293.4	
30 ~ 39 歳	156	80.8	55.1	17.9	19.2	25.0	19.2	37.8	12.8	13.5	1.3	0.6	283.3	
40 ~ 49 歳	258	71.7	45.7	26.7	23.6	23.6	27.1	29.8	9.3	11.6	1.9	0.8	272.1	
50 ~ 59 歳	266	72.2	44.0	34.6	17.3	20.3	32.3	18.4	13.9	12.4	3.0	0.4	268.8	
60 ~ 69 歳	234	55.6	46.2	44.9	26.9	28.6	27.4	9.0	21.8	7.7	1.3	-	269.2	
70 歳以上	331	19.6	35.3	49.2	33.5	18.4	16.6	2.1	30.8	6.6	1.2	2.4	216.0	

生涯学習 センター スタッフ

- 開放講座の
企画・実施
- 地域の学習者
との交流
ニーズの聞き取り

大学の教員

- 知識の伝授
- メッセージ
の投げかけ
- 学生の
巻き込み

地域住民と学生のコラボの窓口

桜の聖母生涯学習センターの取り組み3本柱

開放講座

年間180講座以上
2021年で
開設37周年

地域連携 講座

自治体・企業への
講師派遣・プログラム相談

履修証明 プログラム

本科科目+開放講座
リカレント教育

教育原理

生涯学習・
地域形成・
人づくり
ゼミ

派生プロジェクト

学習センター
(公民館)
との講座開発

プランニ
ング入門

生涯学習
概論

福島学

派生プロジェクト

インスタ部

キャリア
形成論

地域
形成論

派生プロジェクト

ジャンボパフェ
コンテスト

派生プロジェクト

海外大学
との交流

リーダーシップ入門

講義：知識のインプット

実践：知識のアウトプット

二年次

一年次

キャリア形成論

- ▶ 「ライフ」を見据えたキャリアの構築の視点を獲得しよう
- ▶ 自分の歩みたい道探し
- ライフキャリアとワークキャリア
- 「経験ケチ」
- タイムマネジメントと手帳学
- 多様な働き方とVUCA時代

リーダーシップ入門

- ▶ リーダーシップの誤解を解く
- ▶ チームの構築力を磨く
- 失敗への寛容性
- ファリシテーションの理解
- 多様なワークシヨップ
- コミュニケーション力
- フォロワーシップの理解

地域形成論

- ▶ 「地域」とか「コミュニティ」とか聞くけど、
いったい何なんだ？
- ▶ 「地域」に貢献できる
人材ってどんな人？

- 多数のゲスト
- 孤独死
- 防災教育
- ソーシャルキャピタル
- サードプレイスの必要性
「のり役」の意識醸成

福島学

- ▶ “復興人”の養成
- ▶ 「福島」×自分×SDGsの
関係を“行動”で考えよう。
- 解のない授業
- 被災地の現状フィールド
ワーク
- 徹底した対話・議論のグ
ループワーク
- “無知の知”の自覚
- 「ないもの探し」→「あ
るもの探し」の視点の転換

国際女性会議WAW！（2022年12月3日）×福島学 分科会10「女性と防災」に学生登壇

国際女性会議WAW！2022 (World Assembly for Women) 分科会10：女性と防災

Session 10: Women and Disaster Risk Reduction (DRR)



水島 真美
(モデレーター)
MIZUTORI Mami
(Moderator)

国連事務総長特別代表 (防災担当) 兼国連防災機関長
Special Representative of the United Nations Secretary-General (SRSG) for Disaster Risk Reduction, and Head of the United Nations Office for Disaster Risk Reduction (UNDRR)



アワ・マリー・コル・セック
Awa Marie COLL SECK

セネガル大統領付国務大臣／
採取産業透明性イニシアティブ・セネガル国家委員長／
世界エイズ・結核・マラリア対策基金理事
Minister of State to the President of the Republic of Senegal/ Chair of the National Committee for the Extractive Industries Transparency Initiative/ Board Member of Global Fund



デボラ・コミニ
Debora COMINI

UNICEF 東アジア・太平洋地域事務所代表
Regional Director, UNICEF East Asia and Pacific



池田 恵子
IKEDA Keiko

静岡大学副学長／
教育学部教授
Vice President/ Professor, Shizuoka University



石山 純恵
ISHIYAMA Sumie

株式会社クリフ
代表取締役
CEO, CRF Co., Ltd.



吉村 美栄子
YOSHIMURA Mieko

山形県知事
Governor, Yamagata Prefecture



岡部 真林
(ラポルトワール)
OKABE Marin
(Rapporteur)

桜の聖母短期大学
学生会会長
Student President, Sakura no Seibo Junior College



鈴木 二三子
(リソースパーソン)
SUZUKI Fumiko
(Resource Person)

福島県国際女性教育振興会相談役
Advisor, International Women's Education Association of Fukushima Prefecture



生涯学習概論

▶ 司書課程科目の一つ

▶ 「人生100年時代」での Well-beingのためには、
学びの更新が絶対必要。

● 学び直し・学び重ね

● 公民館の重要性

→ 地域と学びの関係性

● 大学開放論

● 開放講座の企画演習

「学び」の継続ができる
人材づくり

特別研究（ゼミ）

▶ 生涯学習と人づくり、地域づくり

▶ 一人一研究の方法を知る。

▶ “学費のモトを取る”鬼ゼミ。

● 徹底「私は何を知りたいか」
→ 「何を明らかにしたいのか」

● 研究対象者＝学校外の「地域の人」とインタビュー

● 体系的、論理的とは何か

● 読み手を意識した記述力の獲得
「私」から「社会」への視野拡大
の見える化

**なぜ、若者は
公民館に来ないん
でしようねえ？**



三瓶的回答①

じゃ、公民館について、
若者の意見を聞けば
いいじゃないの？



職員とディスカッション

**職員研修会にて学生が発表
活動推進委員とのディスカッション**





三瓶的回答②

じゃ、公民館の講座の
企画立案・実践を若者に
やらせてみればいいん
じゃないの？



【2017年～】

高校対抗！ジャンボパフェコンテスト



2018年度の優勝作品



2019年度の優勝作品



橘 JK PRODUCE

AT THE CHENBA OMACHI

福島を

好きになるパフェ



¥600

※これはイメージ図です。

2 / 2 2 . 2 3

問い合わせ: fukushima.parfait@gmail.com

ポスターは
短大生が。



**レシピは
高校生が。**

福島市長も食べに来てくれました





「みんなで描く巨大チョークアート」

◎ゼミ生による講師検索

*人材開発・発掘

◎講師フォロワーを地元
中学生たちに依頼

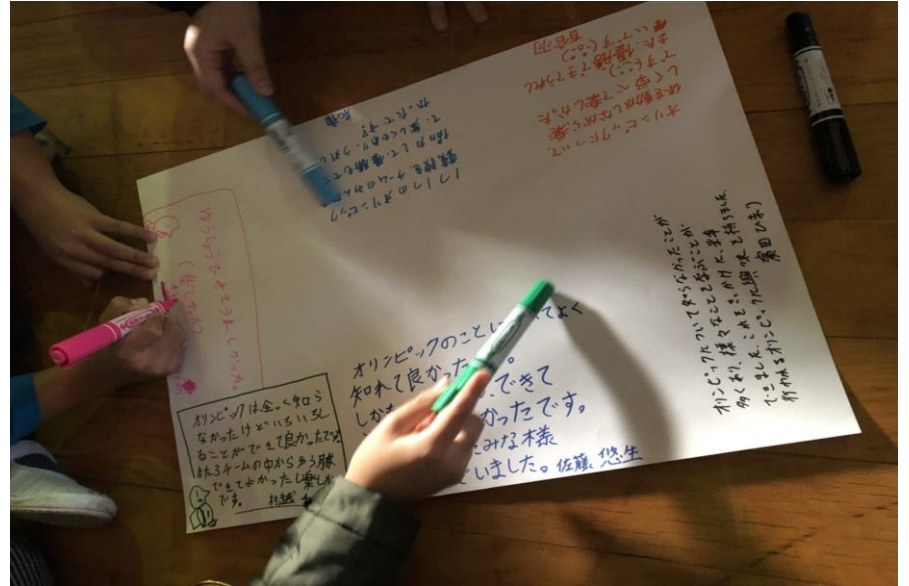
*多世代交流の重層性

*中学生への公民館
の存在感のアプローチ

◎作品を会場に飾り続
けるという戦略

*中学生に新技法経験
（「チョークアート」と
「教えること」）の提供

*公民館への再来と
発信への仕掛け



「みかわだい運動会」

◎ 講師を立てない講座

* 共同学習

◎ 運営サポートメンバー
に中高校生たちに依頼

* 多世代交流の重層性

* 公民館によるリーダー
育成講座とのコラボ

◎ 社会・時事×参加型＝
学びのある講座

* 1964年と2020年のオリ
ンピックに基づくオリジ
ナル競技の創造

◎ 開始前の旗づくり、
終了後の振り返り

* 講座前後全体への参
画による学びのストー
リー性

プランニング入門

▶ 提案できる人材の育成

▶ プロジェクト力の醸成

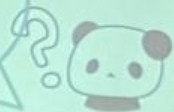
- バックキャストの視点
- リーダーシップとフォロワーシップの応用
- デザイン思考×地域づくり
- 自分の1年後プランの因数分解



力を貸して
ください!

- ▶太鼓・神社・お祭りの現状
- ▶地域を盛り上げる
=地域行事に携わること

みなさんは「地域
行事に携わること・
参加すること」に
ついて、
どう思う???



禁止

実践

世界一 できるビジネス
クリエイティブな
問題解決

スタンフォード式 デザイン 思考

ジャスパー・ウ (著)

スタンフォード大学d.school卒

ジャスパー・ウ 著

工学院大学准教授

見崎大悟 監修

アイデア
創出

プロダクト
改善

組織
マネジメント

問題解決の
スピードを上げよう!

すぐに使える
「ツールキット」
入り

インプレス ユーザーの本当のニーズ・課題をあぶりだす
世界標準の考え方、デザイン思考最高の教科書。

ジャスパー・ウ (著)
見崎大悟 (監修)
『スタンフォード式
デザイン思考』
インプレス、2019年

▶ **「デザイン」とは「問題解決」** (3頁)

▶ **「デザイン」 ≠ 外観を良くする、美しく整える**
= 「設計する」 (21頁)

▶ **デザイン思考は、人々がもつ本当の問題を解決するための考え方（マインドセット）。**
(3頁)

▶ **デザイン思考の基本プロセスは、インタビューを通じて問題を探し、チームでアイデアを見つけ、形にして、ユーザーにテストしてもらうこと。** (50頁)

▶ **人々の問題に関連していること**であれば、
どんなトピックでもデザイン思考を通じて
解決に近づくことができる。(50頁)



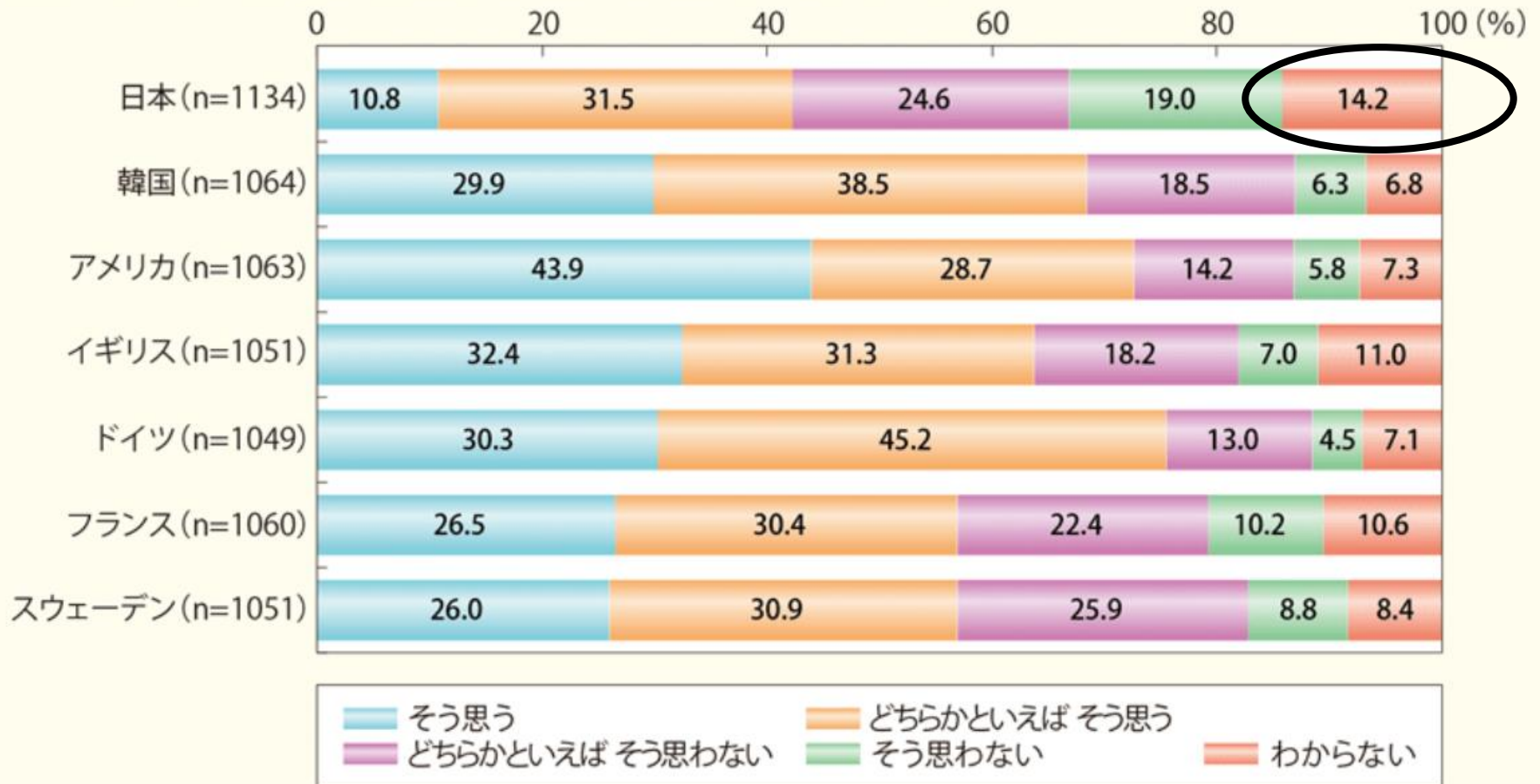
▶ **アルゴリズムの改良や数学の定理証明**
など明確な答えが存在するものについては、
デザイン思考のトピックには向いていない。
(50頁)



2018年度「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」

(7か国 満13歳から満29歳までを調査)

(b) 社会をよりよくするため、私は社会における問題の解決に関与したい



問 18. あなたは、多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

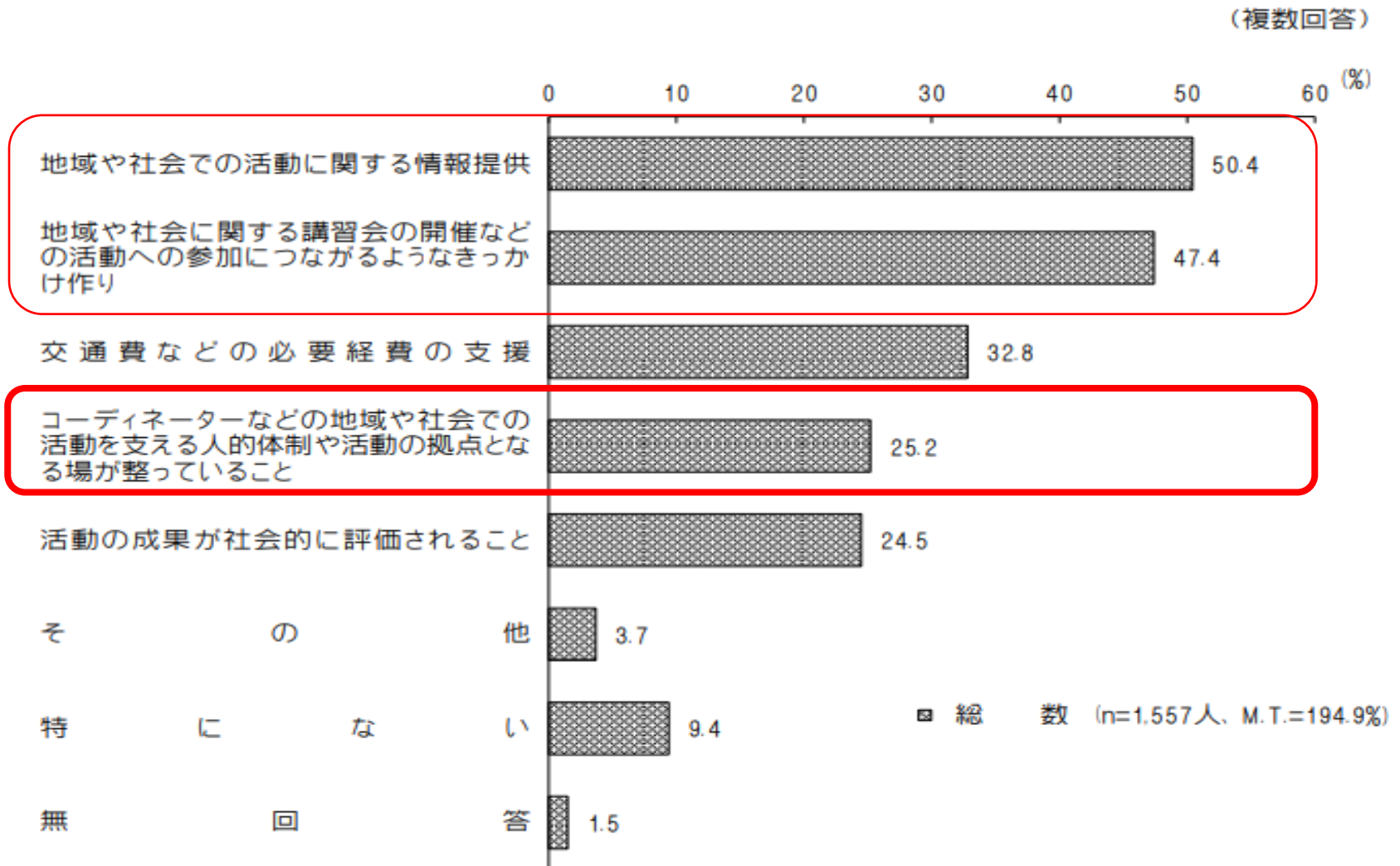


表 18 多くの人が地域や社会での活動に参加するために必要なこと

(複数回答)

	該 当 者 数	地 域 や 社 会 で の 活 動 に 関 す る 情 報 提 供	活 動 の 場 所 に 関 す る 情 報 提 供	交 通 費 な ど の 必 要 経 費 の 支 援	活 動 に 関 す る 人 的 的 体 制 や 活 動 の 拠 点 と な る 場 が 整 っ て い る こ と	活 動 の 成 果 が 社 会 的 に 評 価 さ れ る こ と	そ の 他	特 に な い	無 回 答	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 数 〔 都 市 規 模 〕	1,557	50.4	47.4	32.8	25.2	24.5	3.7	9.4	1.5	194.9
大 都 市 部 区	447	56.6	49.2	36.0	25.1	26.8	4.3	8.5	1.1	207.6
東 京 都 政 令 指 定 都 市	109	60.6	46.8	33.0	24.8	27.5	6.4	10.1	-	209.2
中 都 市	338	55.3	50.0	37.0	25.1	26.6	3.6	8.0	1.5	207.1
小 都 市	648	46.3	46.3	31.5	26.2	24.8	3.4	9.0	1.7	189.2
町 村	331	48.6	46.5	32.0	24.2	22.1	3.9	11.5	1.2	190.0
〔 性 〕	131	54.2	48.9	29.8	23.7	20.6	3.1	9.2	2.3	191.6
男 性	729	51.9	47.1	32.6	24.6	27.4	3.6	8.9	1.2	197.3
女 性	828	49.2	47.7	32.9	25.8	21.9	3.9	9.8	1.7	192.8
〔 年 齢 〕										
18 ~ 29 歳	161	44.1	36.6	46.0	23.0	36.6	2.5	7.5	0.6	196.9
30 ~ 39 歳	161	49.7	42.9	42.2	26.7	34.2	5.0	6.8	0.6	208.1
40 ~ 49 歳	269	49.4	41.3	37.5	33.8	28.6	7.8	5.9	-	204.5
50 ~ 59 歳	285	48.1	50.9	35.8	24.6	24.6	3.2	9.1	1.1	197.2
60 ~ 69 歳	253	60.5	60.1	26.9	29.2	21.7	2.4	5.9	0.4	207.1
70 歳 以 上	428	49.3	47.2	22.7	18.2	15.2	2.3	15.4	4.0	174.3

**無理に押せば、
変な“跡”が残る。**



一人で、あるいは一団団で、あるいは一館で「押し」「進める」時代ではない。

地域におけるコーディネーターとは

“のり役”

翻訳者

伴走者

**仕掛け
人**

「学びを創る」

+

つながりに

自分に

地域に

「変化を創る」

社会教育が提供するものとは

「社会教育が社会基盤であるべき住民自治を鍛え続けるプロセスとして重視されることで、『学び』を媒介として、子どもと大人が交わって**承認関係**をつくり、**社会的な居場所**を自ら得るとともに、子ども自身が将来にわたって**学び続ける力**を身につけて、人生を切り拓き、大人自身も子どもとの交流によって、**社会的な役割を担い続ける駆動力**を得ることへつながっていく。」

牧野篤（編著）『社会教育新論:「学び」を再定位する』ミネルヴァ書房、2022年、9頁。